

年度 2008 学期 後期	曜日・校時 火 2	必修選択	必修	単位数 1
授業科目/(英語名)	総合英語 III Comprehensive English III			
対象年次 2年次	講義形態 演習	教室		
対象学生(クラス等) 2M13	科目分類 外国語科目(英語)			
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー	担当教員:西原 俊明 /Eメールアドレス:t-nishi@nagasaki-u.ac.jp /研究室:環境科学部 1 階(旧169番教室) /TEL:819-2095 /オフィスアワー:火曜日 14:30-15:30 それ以外は、by only appointment			
担当教員(オムニバス科目等)				
授業のねらい/授業方法 (学習指導法) /授業到達目標				
授業のねらい:	基礎的な英語運用能力を高めることを授業のねらいとする。特に、音声言語によるコミュニケーション能力向上を目指す。また、既習の語彙を用いた表現力の幅をひろげるため、Plain English に関する講義を併せて行い、表現力向上を目指す。また、授業の一部として医学英語、特に患者との会話表現にもふれる。			
授業方法:	授業の前半では、日本人学習者が抱えるリスニング上の問題点を理解する訓練、速読の訓練、表現力を養う Plain English による表現練習を行う。授業の後半では、前半で行う訓練を発展させた authentic な教材・題材を用いた訓練を行う。英語音声学・応用言語学・言語学等の知見を取り入れ、ペアワークやインフォメーションギャップを用いたコミュニケーション活動を中心に行う。			
授業到達目標:	授業を通して、種々の速読のスキル、リスニングストラテジー、英語によるコミュニケーション活動に慣れ、基礎的なコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)				
授業内容(概要)	英語の獲得をスキルの獲得ととらえて、スキル獲得のための訓練を様々な手法を用いて行う。			
第 1 回 オリエンテーション				
第 2 回 英語のリズム(1), 速読(phrase reading)とペアワーク(1), 医者と患者の会話(1)				
第 3 回 Voice Aerobics, 医者と患者の会話(2)				
第 4 回 リズムユニットの理解とシャドーイング(1), 医者と患者の会話(3)				
第 5 回 リズムユニットの理解とシャドーイング(2), 医者と患者の会話(4)				
第 6 階 弱く発音される音, 医者と患者の会話(5)				
第 7 回 インフォメーションギャップによるペアワーク(1), 映画による聞き取り(1),				
第 8 回 聞こえなくなる音, 医者と患者の会話(5)				
第 9 回 インフォメーションギャップによるペアワーク(2), 医者と患者の会話(6)				
第 10 回 グループによるディスカッション(1), 映画による聞き取り(3)				
第 11 回 なくなる音, 医者と患者の会話(7)				
第 12 回 ひとつになる音, インフォメーションギャップによるペアワーク(3)				
第 13 回 つながる音, 映画による聞き取り(4), 医者と患者の会話(8)				
第 14 回 Review				
第 15 回 まとめのテスト				
キーワード				
教科書・教材・参考書	テキスト:English for Medicine(金星堂) プリント教材			
成績評価の方法・基準等	期末試験(50%)、小テスト(40%)、積極的な授業への参加(10%)等を総合的に判断する。 小テストは医学英語表現を対象として毎回行う。			
受講要件(履修条件)				
本科目の位置づけ /学習・教育目標	英語コミュニケーションの基礎的能力を身につけると同時に、学部教育への橋渡しとしての医学英語にふれる。			
備考(準備学習等)	看護英語の表現を毎回小テストする。			